

## お焚き上げと富士山信仰

3月25日、新宿町で行われている火祭りが「新宿雀ノ森のお焚き上げ」の名称で、市の無形民俗文化財に指定されました。有形・無形を含めて、市内で民俗文化財が新たに指定されるのは、平成16年の「石田の獅子舞」以来、15年ぶりです。

この祭礼行事は毎年9月1日に、氷川神社(新宿町一丁目)の境内で行われます。祭りの中心となるのは境内に設ける浅間神社の仮宮と、まきを組んで作る斎場、境内入口付近にある富士塚です。富士塚とは富士山を模して造られた築山(土砂や石を用いて山に見立てた物)のことで、富士山への信仰心に基づき造られました。人工的に作った物以外に、もともとあった塚や古墳などを利用して造った物もあります。また、山の一部に富士山の溶岩を使用している場合もあります。「新宿雀ノ森のお焚き上げ」では、白装束を身にまとった行者が富士塚に登り、心身を清める儀式を行います。山肌には富士山信仰や山岳信仰に関連した石塔や碑が立てられています。



富士山は平成25年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。その正式な登録名称は「富士山―信仰の対象と芸術の源泉―」です。初山行事で知られる富士見町の浅間神社など、市内にも複数の富士塚が確認されています。その信仰の痕跡は富士山から離れた川越の地にも確かに残されています。



## トマト



サラダはもちろん、さまざまな料理で使われるトマト。そんな

味の良いトマトを栽培するため、木の枝のチップともみ殻を混ぜて、2年間発酵させた自家製の堆肥を使うことや、苗からではなく、種から手間と時間をかけて栽培することなどにこだわっています。

なトマトをハウスで栽培するのは小泉晃一さん(南田島)。農園の3代目であるだけでなく、川越市内の20~30代前半の若い農業者が中心となって組織される、川越4Hクラブの会長も務めています。

1月中旬から収穫が始まり、4月から5月に旬の時期を迎えます。ぜひ皆さんも旬のトマトを味わってみませんか。

農園では甘太郎という品種の大玉トマトを、30年以上も栽培し続けていて、リピーターも多くいます。「甘太郎は病気に弱く、栽培するのに手間のかかる品種ですが、甘みと酸みのバランスが取れていてとてもおいしいですよ」と小泉さん。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜  
フキ、チンゲンサイ、キヌサヤ、キャベツ、ネギ、新タマネギ、ブロッコリー、ホウレンソウ、コマツナ、トマト、キュウリ、カブ、ダイコン、レタス、ソラマメ、スナップエンドウ

**令和** 和元年が始まりました。新緑を求めて伊佐沼公園へ。日差しがまぶしい中、遊具で遊ぶ親子の姿がありました。同公園では、5月19日(日)に令和最初の「ふれあい福祉まつり」が開催されます。点字・手話教室の福祉体験やステーション、交流コーナー等があります。どうぞ、お出掛けください。

**和** 服姿のグループが、このところ市内各所を歩いている姿が増えているように感じます。今年のゴールデンウィークは、改元に伴う祝日・休日があつたため10連休となり、市内も多くの観光客でにぎわっていました。大正浪漫夢通りなど、和服姿で歩く観光客の皆さんが、小江戸川越に彩りを添えています。



遊具で遊ぶ親子

編集後記  
ぶらぶら